

HARRIER

「馬力向上」「燃費改善」 スポーツマフラーチューン

- 車種別専用設計により、供給された燃料のみでトルク（登坂力）やパワー（高速走行時の馬力）を大幅に増強
- 一方、ゆったり加速・ゆったりブレーキで走ると、増強されたパワーを使わなかった分、燃費が大幅に改善
— 究極の完成度を誇る車両の、次のグレード P.B.S.パワーマフラーチューン —



標準バンパー ガソリン車



GR SPORT ターボ車



標準バンパー ハイブリッド車



モデルスタ Ver1 エアロ ターボ車

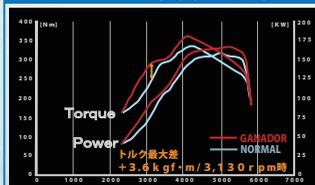
ガソリン車 標準バンパー用
DAA-ZSU60W/65W 後期 (H29/6~)



2本出し※4WDのデータ 燃費+12.1%改善 (1.0H)
パワー+7.8ps トルク+1.4kgf・m

ステンボリッシュ GDE-653 ¥110,000 (税別)
チタンブルー GDE-653ST ¥120,000 (税別)

ハイブリッド車 標準バンパー用
DAA-AVU65W 後期 (H29/6~)



2本出し 燃費+11.5%改善 (1.0H)
パワー+13.4ps トルク+2.5kgf・m

ステンボリッシュ GDE-652 ¥110,000 (税別)
チタンブルー GDE-652ST ¥120,000 (税別)

ターボ車 モデルスタVer1エアロ用
DBA-ASU60W/65W 後期 (H29/6~)

ステンボリッシュ GDE-654M ¥45,000 (税別)
チタンブルー GDE-654MST ¥50,000 (税別)

ターボ車 GR SPORT用
DBA-ASU65W 後期 (H29/9~)

ステンボリッシュ GDE-654G ¥45,000 (税別)
チタンブルー GDE-654GST ¥50,000 (税別)

「馬力向上」 パワーブーストシステムの説明

「燃費改善」



パワーブーストシステム (P.B.S) 搭載スポーツマフラーとは全く新しいチューニング・エキゾースト・システムです。その車種ごとの構成要素 (エンジン型式・排気量・その取り回し・車両重量・車種特性) にベストマッチングするように設計と検証を繰り返された特殊な流体管理構造を組み込む事でノーマルエンジンに手を加えることなく、そのパワーを驚異的に強化できました。完全な車種別専用設計である事と、全く新しいテクノロジーで構成されたスポーツ走行向けマフラーです。

A 馬力の向上

徹底した車種別専用設計を行い、供給された燃料のみでトルク (登坂力) やパワー (高速走行時の馬力) を大幅に増強し、スポーツ走行型にセッティングしてあります。運転の爽快感が強調されることは無論のこと、先を急ぐ時のパワーの余裕がさらに拡大し、運転操作のゆとりが増します。それは、長距離運転で、疲労感の蓄積が少ないことで感じることができます。

B 燃費改善

一方で、帰路に就く時や、大切な家族がまどろんでいる時は流れに沿って、ゆったり加速、ゆったりブレーキ、ゆったり減速で運転 (流れに沿うには、これで十分です。) すると、使わなかった分の燃料は、そのままタンクに残ります。結果として、今まで以上に大幅に燃費は改善されます。

C サウンド

サウンド (排気音) は、音域を低く抑え、心地よく響くよう調整しました。アクセルワークや、走行状態で絶えず変化を繰り返す快適なサウンドは、ドライバーのアクセルワークや思いにいつも反応して、運転を絶えずアシストします。

D 強化されたパワーと、機敏な反応、整ったサウンドは長距離ドライブで、ドライバーの体力を維持しながら注意力の減少を防ぎ、安全運転につながります。

E 弊社計測の、トルク、パワー、燃費改善の各データは全て公開しています。

ガナドール社の実走行燃費計測データの説明

注1. 吸気系・排気系すべてがノーマルの車両を基準としてセッティングしています。

注2. 燃費データは、通常の実走行による対比計測データです。(満タン法 下図①)

したがって、流れに沿ってエコスタート・エコブレーキをすると、さらに燃費は改善します。

※車載燃費計のある車両の場合、燃費計数値は新しいマフラーのデータが蓄積するまで、正確に表示せずマフラー装着後の走行距離が少し必要になる場合がありますので、ご注意ください。

計測条件 ● 満タン法によるガナドール社実走行燃費比較

① 満タン法 (同じ給油条件)

車両のタイヤ位置と向きを同一にし、同じ油面で給油しています。

● 燃費比較計測は最も正確と思われる「満タン法」で行っています。

※給油時の注意

同一のスタンドにて、同じ車両の向き、同じタイヤ位置で停車し、同じ油面で正確に給油し計測しています。

(車載の燃費メーターでは正確に測定できませんので注意です。)

● 走行距離 (km) ÷ 給油量 (L) = 燃費 (km/L)

→ 満タン給油時にオドメーターをリセット。

② 走行条件 (距離・速度を適正に保つ)

一般道や高速道路や山道をおりませています。

● 【走行距離】ガナドール社参考データ
一般道 3.2 km (約 21%)
高速道路 9.5 km (約 63%)
山道 (登り・下り) 2.4 km (約 16%)
※一般道のみでの走行や距離が短すぎる場合、測定精度が落ちます。

● 【速度設定】ガナドール社参考データ
一般道及び山道は、交通法規に準じ、流れに合いません。
高速道路は、法定速度にて巡航。

③ 計測環境 (強風・雨・渋滞では中止)

悪天候の時はダメ 同じコンディションで測定しています。

● 同じ気温・気象条件で行っています。

● 強風・雨天などの悪天候、朝夕のラッシュ時を避け、同じ条件の日に実施。

→ 途中で渋滞や強風が発生したら中止し、初めからやり直します。

④ 全く同条件で運転 **重要!**

(加速時間と所要時間が同じであることが最も大事な条件)

ノーマルマフラーで 50 km/h までの加速時間が 5.0 秒の時、ガナドールマフラーの時も同じ 5.0 秒で加速しています。

● 同じ距離を、同じ加速、同じスピード、同じ所要時間で計測をしています。

【良い例】例えば、ノーマルで 50 km/h までの加速時間が 5.0 秒の時、ガナドールマフラーの時も同じ 5.0 秒かけて加速するのが比較条件。

【悪い例】加速が早く、所要時間が短かった場合、アクセルを踏み込み過ぎていて比較計測になりません。

→ 燃費改善効果が得られません。

計測風景

一般道路

マフラー交換後、再度走行比較のため



高速道路



往路



一般道路

登坂道路



出発ポイント

ハリアーハイブリッドの場合

GDE-652シリーズ
リヤビームマフラー

中間ポイント

計測風景と結果 (満タン法)

左右出し 燃費改善率 + 11.5%

総走行距離 150.9 km

一般道路 31.8 km (21.1%)
高速道路 94.8 km (62.8%)
山間道路 24.3 km (16.1%)



一般道路

高速道路

復路

一般道路

降坂道路

